

フタムラ化学（株）に対し、 「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施

—東海エリア初の「エコノワ」で、環境に優しい不織布の新製法製造設備新設を支援—

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）と株式会社大垣共立銀行は、フタムラ化学株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：長江泰雄、以下「当社」という。）に対し、「DBJ 環境格付」に基づき、「環境クラブ型シンジケートローン『エコノワ』」（以下「エコノワ」(注)という）を協働で組成しました。

当社は、プラスチックやセルロースを原料とする包装用フィルムの製造のほか、水や空気等の浄化に用いられる活性炭の製造などを手がける化学メーカーです。高い技術力と製造ノウハウを背景として、包装用フィルム製品で高い国内市場シェアを持ち、特に、生分解性を有し環境に優しいセロハンでは世界首位のシェアを誇っています。

本件は、生分解性を有し燃焼時にも有毒ガスが発生しない等、環境への負荷が小さい素材であるセルロース 100%の不織布につき、当社が新製法製造設備を新設するにあたり、DBJ、株式会社大垣共立銀行、岐阜県信用農業協同組合連合会および大垣西濃信用金庫が共同で金融面の支援を行ったものです。当社における環境経営の推進および地域における環境配慮活動の促進を支援するため、対象となる当社工場が存する地域（岐阜県大垣市）を営業基盤とする各地域金融機関と「エコノワ」を組成しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 海洋プラスチック問題等のグローバルな環境課題について、生分解性素材であるセルロース製品の開発や生産拡大による解決を目指し、事業拡大による企業価値向上と環境課題解決による環境価値向上の両立を図っている点
- (2) エネルギー使用量をはじめとした多様な環境負荷物質のモニタリングに基づく分析および対策を全社横断的に実施していることに加え、社外研修も活用しながら運用改善のノウハウを現場に周知徹底することで、環境負荷低減に取り組んでいる点
- (3) SDGs を活用することで、従来進めてきた環境経営からサステナビリティ経営へと取り組みを拡張させるべく、重要課題の特定に向けた検討に着手している点

News Release

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、地域経済の活性化に貢献するお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注) 企業が負担している環境費用・環境投資を資金使途としており、環境意識の高い金融機関を中心に組成されるシンジケートローンです。また、「エコノワ」は、「Ecologyのワ=環境の輪・和・環」という意味であり、環境クラブ型シンジケートローンの商品名として商標登録しています。

【お問い合わせ先】

東海支店 業務課 電話番号 052-589-6892